



# かいせつ

## じょうほうかつよう ほうほう 情報活用の方法

# E

## どうなる？



ICT を学習に使うと、わからないことをすぐに調べたり、いろいろな資料を見比べてたりすることができます。また、文章作成ソフトやプレゼンテーションソフトを使うことで、自分の考えをまとめたり、わかりやすく伝えたりする力をのばすことができます。

### ① 友達といっしょに学ぶことができる

- ICT を使うと、友達と意見を共有したり、一緒に資料を作ったりすることができます。その中で、「どう伝えればいいかな」「どの情報をえらべればいいかな」と考えるきっかけが生まれます。

### ② ICT は「考えるための道具」

- ICT は、ただ調べるだけで終わったり、調べたことをそのまま写したりすると、効果的な活用とはいえません。大切なのは、「考えを深め、学びを広げる道具」として使うことです。情報を集めるだけでなく、整理したり、比べたりしながら、自分の考えとしてまとめていくために活用方法を考えていきましょう。

### ● ICT を活用できる力が大切

ICT を使っているつもりが、答えを聞いてその通りに従ってしまうだけになる場合があります。これを防ぐためには、自分で考えを予想したり、目的を明確にしながら使ったりすることが大切です。こうした「情報活用能力」を身につけながら、ICT を使っていくみましょう。

## どうする？



### ① 調べた情報を比べて考えてみよう

- インターネットには、たくさんの情報があります。ひとつだけを見るのではなく、いくつかのサイトを見て比べてみましょう。たとえば、「同じことが書いてあるかな？」「ちがう考えはあるかな？」と考えることで、情報をよりよく理解することができます。また、生成 AI (p12-13) を使って、ちがう見方の意見を教えてもらうのもよい方法です。いろいろな考えにふれながら、自分の考えを作る練習をしてみましょう。

### ② ICT を使って考えをまとめ、伝えてみよう

- 文章を書くときに、下書きを作ったり、図や表を使ったりすると、考えをわかりやすくまとめることができます。また、発表の資料を作ることで、「何を伝えたいのか」を自分で考えながら、くふうする力も身につけられます。

# 考えてみよう

(つか かた かんが  
使い方やルールをを考えてみよう)



- か てい が く し ゅ う  
家庭で学習するときには使ってもよいつか たん まつ  
端末は

( )

れい  
例：パソコン、スマートフォン

- か てい が く し ゅ う  
家庭で学習のために アイシーティー つか  
ICT を使うときは

( ) の し ょ う  
アプリを使用してもよい

れい  
例：Youtube、Google、生成AI

- か てい アイシーティー し ょ う  
家庭で ICT を使用してよいのは

( ) とき

れい  
例：おうちの人がいる、宿題が終わった

- まも  
ルールが守れなかったら

( )

れい  
例：1週間使用禁止

## 保護者の方へ



### 【家庭で気をつけたいこと】

「ICT＝トラブルに合うから使わせない」ではなく、**リスクを上手に回避しながら活用していく力**を身につけて行くことが大切です。ICTを学習に活用する力は、一度に身につくものではありません。家庭では、「正しく使えているか」を細かく確認するよりも、「**どんなことを調べたの？**」「**どんなことがわかった？**」と、学びの内容そのものに目を向けた声かけが大切です。

また、子供がICTを使って調べたことや作ったものに関心を示すことで、ICTを学習に活用する意欲を高めることにつながります。

### 【上手な情報活用に向けた考え方】

ICTの活用方法については、「正解」が一つに決まっているわけではありません。家庭でも、「**どうすればもっとわかりやすくなるかな**」「**次はどんな使い方ができそうかな**」と一緒に考えることで、子供自身が学び方をくふうする力を育てることができます。

また、学校ではICTを活用してどんな学びをどんな目的で行っているのかを知っておくことも大切です。ICTをはじめとする子供たちの情報活用能力の育成は、学校だけでも家庭だけでも成り立ちません。両者が同じ視点で子供の学びを支えていくことが大切です。